## 建築の主たるコンセプト(詳細は No.2~4に記述)

#### OT 70%

敷地内の大きな常緑樹を、長さ9.5メートルの開口部を介して室内から観賞できるようにした。この為に、敷地 の西側に茂る大きな木々(落葉樹)もごく近くに感じることができる。大開口ではあるが、木々に囲まれている ことで、夏は落葉樹の葉が西日を遮り、冬は夕方太陽の日射熱を取り込み省エネルギー化を実現。

#### ◎エコノミー

3 階は、開口を北側にとり、南には換気用の窓を設けるに留めた。これにより、夏の冷房負荷を抑える。冬は温水蓄熱式の床暖房により、深夜の安価な電気を熱源として暖房を行う。最も冷房負荷の大きくなる事が予想される4 階は、屋根に断続的に水をまくシステムを設置し、潜熱による冷却を行う計画である。

#### ◎アメニティ

各階をつなぐ内部階段は、オープンな構造とし、気圧差によって下階から上階に抜ける通風を確保した。通風口は、玄関のドア、出窓の下部に設置されている。

### 3階 LDK 北側の、全長 9.5 メートルにもなる出窓は、ちょうど人が座るのに都合が良い高さに設定されている。 椅子のあるところに限らず、好きな場所に自分の居場所を決めることができる。

敷地3面が道路に面しており、塀や生垣を設けずオープンにすることで、侵入されにくいよう配慮した。 ◎デザイン

の カート 自然に恵まれた環境を最大限に生かすために、室内の設営は極力要素を減らし、ブレー名な空間とした。大きなガラスの開口部の前面に柱を出さないため、ブレースにて外壁部を強固に固める構造とした。





4 枚構成中の No.1

登録番号 No.0003 作品名 下作延 K 4 枚構成中 No.2



受賞者 有限会社 都留理子建築設計スタジオ(代表者 都留理子様) 神奈川県川崎市

# 建築の概要:(RC造、1部鉄骨造)

この作品はアトリエ併用住宅であり、アトリエと居住部分の双方が吟味されている。敷地内にある常緑樹と落葉樹を緑陰と日照に見事に利用している。特に冷房に関して、通風に対する配慮(No.3の立面図)は素晴らしい。将来的に4階屋上に散水して水の潜熱で冷房負荷を削減する構想は是非とも実現してもらいたい。



登録番号 No.0003 作品名 下作延 K 4 枚構成中 No.4



# 設備の特長:(厨房の一部にガスを使用)

1階のアトリエ部分と、主たる生活の場所である3階居室には全面的に床暖房を敷設。熱源は夜間電力であり、床暖房は温水蓄熱式である。厨房のレンジは使い慣れたガスを使用するので所謂「オール電化」ではないが暖房、給湯等のエネルギーは100%を夜間電力等で賄うので深夜、早朝、留守の際は「オール電化」となり、安全性とエコロジーの考えが徹底している。(当コンテストは24時間オール電化でなくても可としております)

熱機器関連のメーカーリスト:「給湯及び床暖房用温水器 (ES-6000)」と「床暖房」は富士プラント・アルコ(株)